

安全な道路環境をめざして—18—
SAFETY FOCUS

歩行者・自転車利用者にとって危険である巨大な交差点

広島県広島市「西観音町電停東」交差点

「SAFETY MAP」は、Honda が公開している「SAFETY MAP」に示される交通上の危険が潜むスポットに足を運び、現場の交通環境と事故防止について考察する連載記事です。

「SAFETY MAP」には「みんなの意見」として一般投稿された危険スポット情報が地図上に表示されている。今回「FOCUS エリア」(下記参照)に取り上げるのは、広島県内で2人の方が「みんなの意見」を投稿している「西観音町電停東」交差点だ。ここでは、スピードが出ているクルマが多いなどの投稿が寄せられている。また、この場所では、平成28年中に四輪車対歩行者の事故が2件、四輪車と自転車利用者の事故が2件、四輪車対四輪車の事故が3件発生している。

●この地点で発生した事故件数

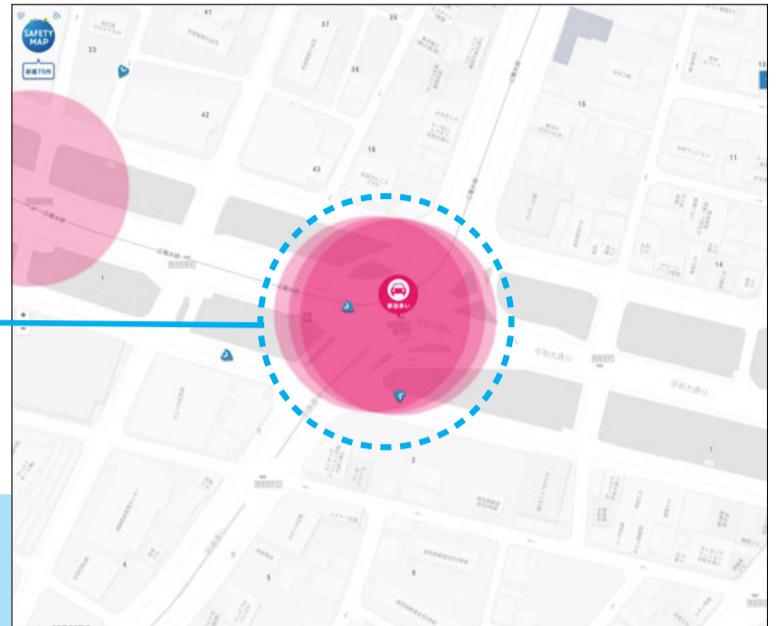
四輪車対歩行者	左折時	1件
	右折時	1件
四輪車対自転車	左折時	1件
	右折時	1件
四輪車対四輪車	追突	3件

※平成28年中 広島県警提供

●「SAFETY MAP」みんなの意見

スピードが出ているクルマが多い 2人

※平成29年1月31日時点

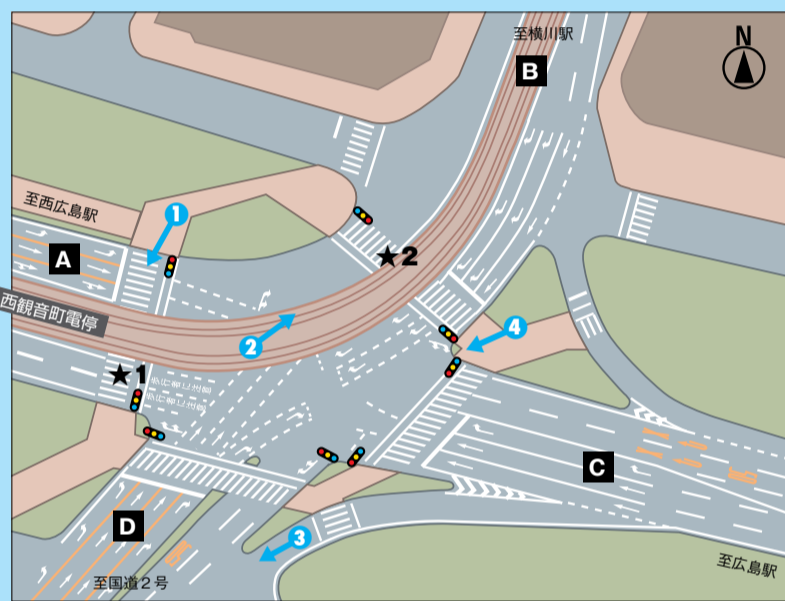


現場をたずねる

FOCUS エリア
広島県広島市西区「西観音町電停東」交差点

今回訪れた「西観音町電停東」交差点は広島市の中心部を東西に抜ける平和通りにあり、南側に空港通り、北側に中広通りが接続している。この道路は路面電車との並走区間であり、軌道は中広通りから平和通りを西へ抜けている。また、交差点の西側には路面電車の西観音町電停が設置されている。

現場を訪れたのは平日朝7時。7時半を過ぎると徐々にクルマやバイク、自転車の交通量と、西観音町電停で降りる通勤・通学の人々も増えていった。特にAとBの間のクルマの通行量が多く、路面電車の運行本数も増えるため、道路がクルマと電車で埋め尽くされる状況になっていた。BからC、およびCからDへ進むクルマは交差点に進入せず、左折専用レーンを通行する。CからDへ合流しようとしたクルマが、右後方からの直進車両に気づき、慌ててブレーキを踏む場面があった。通勤時間帯は二輪車の通行量も多く、2段階右折をしない原付も見られた。



通勤時間帯はクルマと路面電車で道路が埋め尽くされる

西観音町電停で降りた乗客はそのまま横断歩道へ向かう



直進車両に気づかず慌てて停車したクルマ



二段階右折をせずに右折レーンを利用する原付



交差点を通行するすべての人が周囲に配慮を



歩行者保護のために一時停止したクルマ。その内側にいるクルマは止まらずに横断歩道を通過

「西観音町電停東」交差点には4つの横断歩道が設置されているが、特にAからBに左折するクルマは、交差点入口から横断歩道★2までの距離が長いので、減速しないまま交差点に進入するケースが多い。横断歩道を歩行者が渡ろうとしているにもかかわらず、一時停止せずに通過するドライバーが目立った。逆に、路線バスは横断歩道手前では歩行者の有無にかかわらず必ず一時停止して、安全確認をして通過していた。一般のドライバーも、路線バスのように歩行者を優先させることを徹底してほしい。

一方、歩行者はスマートフォンを操作しながら歩いたり、両耳にイヤホンをつけて走行する自転車利用者も多く見られた。交通量が多い交差点だけに、車両も歩行者も、お互いの存在を確かめ合って慎重に通行することが重要だ。



両耳にイヤホンをしている自転車利用者とスマートフォンを操作している歩行者

歩行者への積極的な注意喚起でより安全な通行環境へ

Aにある西観音町電停で降りた乗客のうち横断歩道★1へと向かう歩行者について、歩行者用信号が点滅または赤になっても横断歩道を渡ってしまう人が少なくない。この交差点において、危険な状況に陥りやすいのは、横断歩道を通行する歩行者といえる。ほとんどの電停は、路面電車を降りてすぐに横断歩道があり、西観音町電停では横断歩道の手前にドライバーに対する「歩行者に注意」の路面表示が既にあるが、電停から横断歩道へ向かう歩行者側にも信号を遵守してもらうための注意喚起も必要ではないかと思われた。

広島県警察では今後、さらなる安全対策を検討していく考えだ。



「歩行者に注意」の路面表示

路面電車から降りた乗客が赤信号で横断歩道を通行

「SAFETY MAP」のご活用・ご参加をお願いします!

ホンダ セーフティマップ

検索

<http://www.honda.co.jp/safetymap/>

「SAFETY MAP」は「みんなで作る安全マップ」です。Hondaのインターナビが集めた日本中を走るクルマの急ブレーキ情報と、交通事故情報、そして皆さんの声で地図はつくられます。お手持ちのPC・スマートフォンからアクセスできますので、あなたの周囲に危険と感じることのある場所があったら、情報を投稿してください。